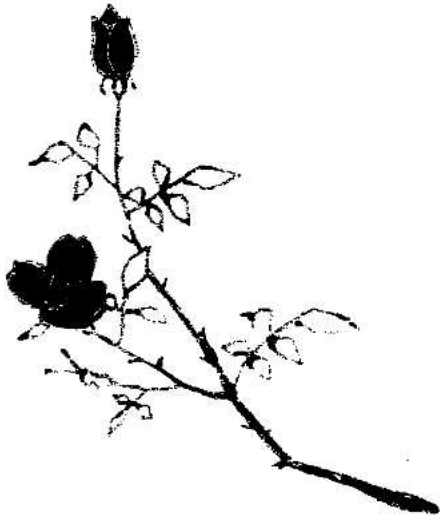


M.M.

P.S.



NO. 1

目次

みんなであらう

公害と日本 I

戦争 O

本当の友達はいないのか G

本当の友達 Q

部活動とは？ A

時間 三宅

話の散歩道

城南ホテル P

中学の先生 V

4

4

3

2

2

2

1

1



詩のページ

花 B

戦争 C

考える 三宅

特集「中学生生活」

中学生とは R

学校 N

中学生 三宅

パズルコーナー

クロス・パズル 8

8

7

6

6

5

5

5

みんなで考えよう

公害と日本

(I)

今の日本は水俣病やイタイイタイ病などの公害が各地に発生している。それどころか、近頃では母乳、米、魚などがB.H.C.やP.C.B.などという食品公害もでてきた。このようには日本ではばくらはどうやって生きていけばよいのだろうか。大又保事件や連合赤軍事件などでたくさんの人命がうばわれ、それらの犯罪人は裁判にかけられ重い罰をうけている。どうして水俣病の原因となつていいるナツソ会社や昭和電工の社長は何もされないのである。もうたくさんの人命をうばつていいるのに、連合赤軍のリンチよりもっとすごいリンチなのではないか。

水俣病などは十数年も前からわかつていたのに、どうしてここまできたのだろうか。沖縄返還や四水防などどうだつていい。それよりまず公害問題を解決しなくてはならない。これかもう次がうばへると新しい公害がでてくると思う。ぼくらはどんなことで病気になるか

り、死んだりするかわからない。このままではいけない。近い将来日本はほろびてしまうかもしれない。

公害について……有名な公害をいくつあげてみると、光化学スモッグ、ヘドロ、カドミウム、B.H.C.キルなどである。残念なことに国では、予算の1%弱しか公害対策にあてていない。きつと公害はもつと／＼ひどくなることだろう。

戦争

(O)

今またベトナム戦争がはげしくなつてきている。きつともとは平和な国で、ちよつとしたことだつたのだから。そのままそつとしておけばよいのに、他の国が加つて増々大きくなつてしまったのだから。そして今では、ベトナムの軍隊より、それを援護している国々の軍隊のが大きくなり、その中で南北ベトナム人は殺されている。こうなるとベトナム人がかゝいそうだ。小さな国をいじめめる悪い国ノ、はやく戦争をやめろ！



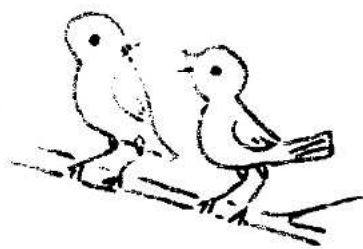
本当の友達とは

いらないのか

(G)

中学生になつてから、小学生のときのように何でも話せ、一緒に何かをする友達がなくなつてしまつた気がする。何がこうさせてしまつたのだろうか。勉強のことにしても、お互いにかくし合う。よほど親しくない限り本当のことを言わない。身の回りのこともかくそうとする。だがう自分もかくそうとしてしまふ。

こんなことを考えていると、友達まで疑いの目で見てしまふ。そうだ。そして、そんなふうになつてしまつた時のことを考えると恐くつてしようがない。



友は喜びを倍にし、悲しみを半分にしてくれる。……モケロハ（雁の家）

本当の友達

(Q)

中学校というところは勉強中心である。だから小学校のときのように、男子も女子も区別なく友達で、仲よく遊び話すこともできなかった。中学生になると、みんなライバルで敵になつてしまふ。

でも中学生になると、きっとそのような中で悩みなどがふえてくると思う。そんな時は、その本当の友達が必要だと思う。苦しい時は助け合い、楽しい時はいっしょに笑う。自分も勉強などでつまずいたりしたときのために、本当の友達をまずはじめにさがしたいと思う。

部活動とは？

(A)

今のクラブに入つて一年。その間、私はクラブで何を学んだのだろうか。雁がに技術は上達した。だけど、チームワークの中からは人間関係などを学ぶことができないだろうか。先生方はクラブは一語に楽しく過ごす時間だと言われるが、今までどれだけ楽しくすごしたことがあるだろうか。毎日クラブにでていても

教えるほどだ。それに先生のいらつしやうな
い時は遊んでしまふ。そんな時、私は「何の
ために放課後遅くまで残っているのだろう。」
と考えてしまふ。

先日、先生とキヤプテンが来られな
とがあった。その時キヤプテンをAさん
がした。なぜAさんがするようになったか
その理由は知らない。そうしたら部員の二
三の人がBさんすればいいと言いだした。A
さんなら反抗すると言いだした。私はそれを
聞いていけないことだと思つた。だけど彼女
達の気持ちもわからないわけではない。Aさん
よりBさんのが実力もあり、みんなからの信
頼も厚いのだ。

しかし、それ以前に私達部員みんなが反省
しなくてはいけない点もある。体育館が使用
できない時など、「試合だからゆずれ」など
と言つておきながら、いざ使えるときになる
と、遊んでまじめにやろうとしない。このよ
うなみんなの態度を見て、私はこんなクラブ
はやめてしまつた方がましだと、何度思った
ことだろう。だけど、最近放課後のクラブは
部活動とされ、やりたいものだけがやるよう
になつた。それと同時にキヤプテンも今まで
とは態度がかわり、先生が来られなくても、
みんなをまじめにやるようになった。
私もこれを機会に先輩の助言やアドバイス
を守り、立派なチームワークを作つていきな
いと思ふ。立派なチームワークを作つてこそ
本当の強さが生まれると思ふ。そしてその中

から、協調性や先輩・後輩のチームメイトな
どの人間関係も学ぶことができると思ふ。

~~~~~

### 時間

### 三二七

私達には一日二十四時間を平等に与えられ  
ている。その中で睡眠し、勉強し、仕事をす  
る。しかし使う人によつて、それは三十時間  
にもなり、二十時間にもなつてしまふ。

学校や塾で少しでも多く宿題がでると、す  
ぐに忙しいと不平を言う人がいる。そんな人  
はテレビを見る時間をさし引いて考えている。  
努力しない人に限つて不平を言う。努力して  
いる人は決して不平を言わない。なぜなら、  
二時間分の宿題がでても、毎日三時間勉強し  
ている人にとつては、苦痛ではないからであ  
る。しかも努力している人は時間の使い方も  
知つてゐる。ゆずかな時間もある。  
一度、君も一週間の自分の行動をメモして、  
いかに無駄な時間が多いか調べてみたらどう  
だろう。



# 話の散歩道



## 城南ホテル

(P)

緑につつまれた小高い丘の上にある日本一の景色のええところ。その右は城南中学校。しかし、ひでえのなんの勉強を志す生徒は、弁当を食いに来ているのが、遊びに来てはいるのかかわらないほどのすさまじさ。これでは校舎もガタ／＼するわけである。

理科室へ行ってみよう。薬品はほとんどない。ビーカーや試験管は口と底とがわがれてしまったのもある。

他の教室もひでえのなんの、特に下のロッカーのまじないこと。校内を見わたせば、他にもつと／＼とたくさんある。ぶつこわれている椅子、半年間もつかえ続けた水道。そしてトイレというトイレはすべてまじない。始末が悪いのは、こめかめているやつで、横がうテヨロ／＼でできてしまっている。横がしかし、このような中学校も、そこを通る人は、ホテルとまじらうがえらうしい。たしかに丘の上には白いまじらな建物が一ツボツとある。

悪まれた環境にあっても、中味が悪くはない。中味も本当のホテルのように、みんなが美しくなくてはいけない。そこを通る人に、ホテルとまじらうがえらうしい、おかしくないように。

……

## 中学の先生

(V)

中学生になって、一ヶ月しかたっていないが、今までに感じたことは、先生の私達に対する態度が小学校のときとちがうということ。小学校の先生方は、友達のような態度をとって下さって、とても話しやすく親しくなれました。しかし、中学校の先生方は、すべてがそうだとはいりませんが、すぐに頭に力をつけてくるらしくおこってばかりいて、私達の話しを何も聞いてくれません。まだこれか、それぞれ先生方の長所や短所を知るのでしようが、長所の多いことを望んでいます。

他人に小言を言われた時に腹を立ててはならぬ。また腹の立つ時に小言を言つてはならぬ。……新島襄(教育家)



詩のページ

花

(B)

太陽の光をいっばいあびて  
 すぐすくと育つたおまえ  
 時には 雨にうたれ  
 時には 風にたたがれ  
 きびしい自然の中で  
 おまえは決して負けなかった  
 そして 今  
 全身の力をふりしぼって  
 私の目の前で  
 おまえは美しくさいた



戦争

(C)

戦争は人間を苦しめる  
 何十人 何白人 ……  
 多くの人が傷ついて  
 死んでいく  
 ある人は 兄弟を失ない  
 ある人は 両親を失ない  
 ある人は 夫を失ない  
 戦争は人間を不幸にする  
 ああ ……  
 いつの日に平和が来るのだろうか  
 人々はとてもし 待ちわびているのに  
 平和な日は ……

考える

三光

考える  
 でも 何もできない  
 勇気がないのだろうか  
 怖いものがあるのだろうか  
 何もできない  
 考える

# 特集



## 中学生生活

中学生とは？

(R)

中学生とは、いったい何をすべきなのだろう。こんな疑問が私の頭の中をかきめぐる。学生の本文は、勉強であるという事はわかっていて、そして、それだけでは無いという事もわかっていて、ただ、勉強とその他のことを両立させることは、とても難しいことだ。こんなことを言っても、本当は何もわかってはいない。それだからこそ、こんな疑問をいだくののだ。

スポーツにうちこんだり、流行をおいかけたり、趣味をたのしんだり、読書をしたたり、かぞえあげれば、やりたいことは山ほどある。その中で、勉強と両立させるにはどのようなしたらよいのだろうか。

中学生になって、初めてこんな悩みを持つた。小学生では、ほんのがけらななが、たこ

しである。でも、まだこんな悩みを難しく考える必要もないとも思う。部活動にしても好きでやっているのだし、宿題もどんなに多くても平気でやうなくてはいけない。こんなふうないくう考えても、結論はでない。中学生とゆうものを、何もわかってはいないけれど、力一杯努力しようと思っっている。勉強にしても、庭びにしても、そうすれば、中学生生活がきつくと有意義なものになると信じている。そして、このことだけ

## 学校

(N)

ぼくはときたま学校へ行くのがいやになることがある。それは宿題をやらずに行くこと、先生にいつまでも叱られるが、眠るからで、まだ他にも、学校へ行くのがいやになる理由はあります。部のことでもその一つです。それだけでなく、あまり好きでない学校がなおさういやになります。

ぼくはこんなとき、路傍の石の吾一少年のことを思い出します。ぼくとちがって学校へ行きたくても行けなかつたからです。それにくらべると、ぼくなどはよっぽどめぐまれています。



でも、やっぱり今の学校は、「勉強、勉強」で好きになれません。今の世の中では、上の学校へ行かなければならぬのだから、これでいいのかもしれない。ぼくも努力して休まずに元気に学校へ行こうと思います。

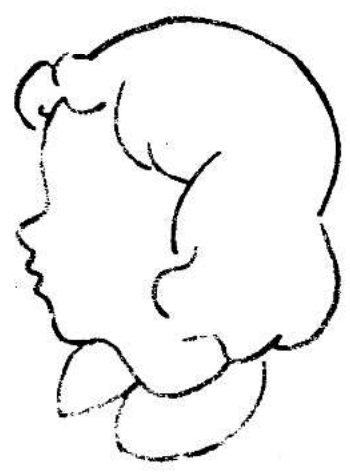
教育の目的は、機械を造ることではなくて、人間を作ることである。  
……ルソー（思想家）

### 中学生

#### 三宅

この文集を出すにあたって、多くの人が中学生について書いてきてくれた。私が中学生だったのはもう十年も前のことであるが、十数年間の学生生活をふり返ってみて、一つ一つの思い出として頭の中に残っているのは、中学生時代のことが多い。それだけ中学生の時は楽しかったのだろう。いや、有意義に過ごせたからかもしれない。今の中学生を見ていて、残念に思うことは、主体性がないことだ。勉強にせよ、遊びにせよ、自分の考えをちやんと持って行動してほしい。小学生のことを児童ともいう。なぜなら、小学生は人から言われたことをしていいからである。しかし中学生からは生徒

という。それは自分で考え行動することの印である。誰々さんが行くからとか、誰々さんが持っているからとか、小さな子供が言うようなことを言うのはやめよう。「中学生とは何か？」こんな難しいことは考えなくてもよい。ただ自分で考え、努力し行動する。そこに中学生の意義がある。勉強にせよ、運動にせよ、中学生時代に体得したことは、必ずそれ以後の礎となる。私はそう信じている。

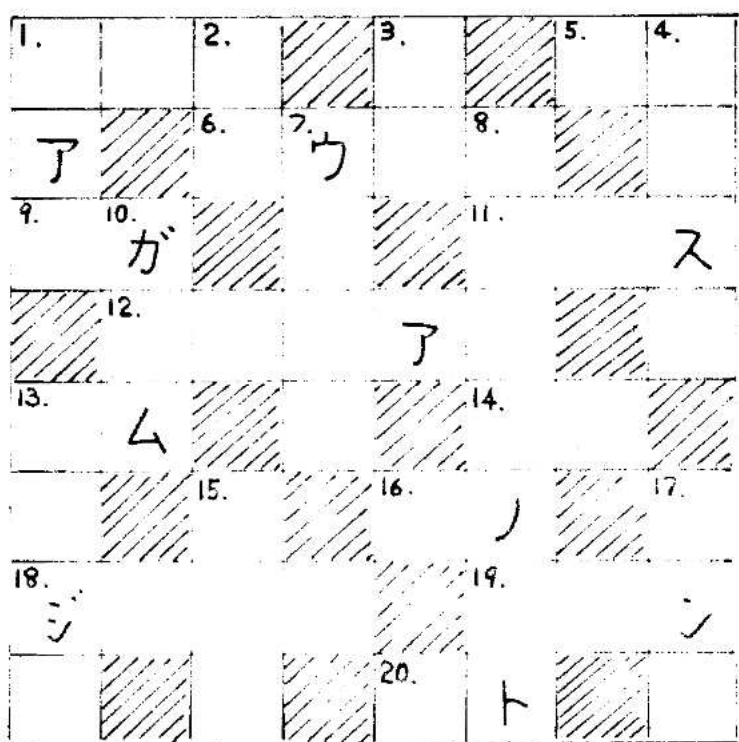


次号の特集は「勉強」について

P U Z Z L E

パズル・コーナー

P U Z Z L E



◇ タテのカギ

1. 島崎藤村の著作
2. 赤軍派の好きな言葉「……批判」
3. 奈良公園にたくさんいる
4. 交通機関の……で休みの会社や学校も多

1. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20.

7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17.



このパズル正解者  
二名にコピー券十  
枚進程。

「有無」これを見んと読む  
この病氣はこわい  
きこりの道具  
板ばさみになること  
「する」の動詞の活用  
小柳ルミ子のヒット曲「……の花嫁」

♡ ヨコのカギ

かつたうしい  
鳴内のこれは有名な  
法隆寺のある飛鳥時代ゆかりの地  
ろうえい事件のあった省  
初めて試合にでること  
中国にしかないかわいい動物  
ダイヤモンドの世界的産地

編佳木後記

いろいろな夢をもち、希望に胸をふくらませるかと思つと、一寸したつまづきにもすつかり参つてしまい、友情にあこがれるかと思つと、孤独こそ私の本当の姿だと思ふやう、つまりこういう時代が中学生時代である。それは、言いかえるなら、自発的に考へ行動するやうになつたことであり、大人になる考へである。

近頃、学生運動が盛んになつたせいも、教育のあり方がうんぬんされてゐる。その中でも、大学問題とともに、少年期から青年期にかけての人間関係のあり方が問題になつてゐる。私も中学生を教へていて、それを強く感じるのである。

親や教師は、中学生たちと正面からとりくむことを、怠つては行ないたい。彼らと格闘して、ぬじ伏せるだけの力量をもつ親や教師が少なすぎはしないか。彼らと格闘してゆずらないためには、親や教師は自分の精神の中に、若々しい力をたたえていなければならぬ。青春の日々をすつかり忘れてしまつた親や教師には、青春の最中にある中学生の喜びも憂いも理解しえない。そして、格闘する力量のない親や教師は、既成の權威によつて身を守らうとし、それによつて中学生を人間から見はなしてしまふ。

人間と人間との關係がなくなつて、權威と

服従とだけが押し込まれてきたところに、教育はありえない。そんな教育をとりつくり、ためには、「受験地獄」とは何んといひ口臭だらう。

M. P. S.  
(Miyake Private School)

No. 1 5月号

定価…コピー券6枚